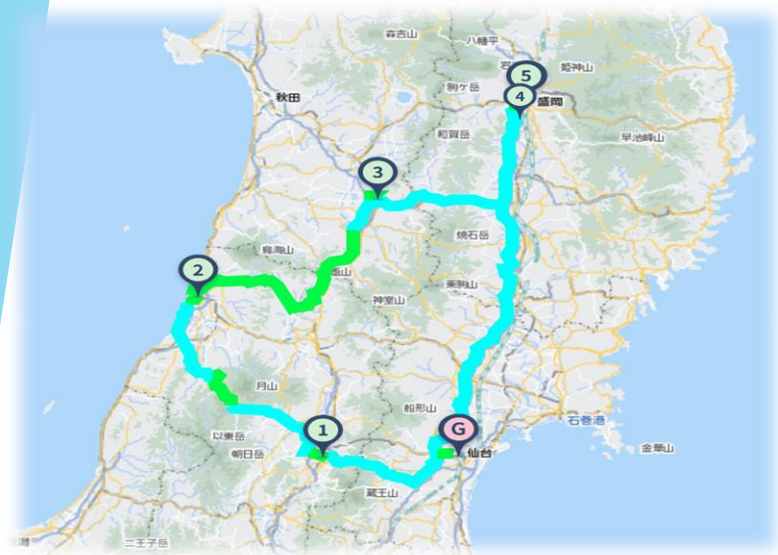


東北再発見の旅

～盛岡市から見えてきた魅力～



東北学院大学教養学部地域構想学科

チーム名 東北学院大学地域構想学科2年

盛岡市の概要と魅力

○盛岡市の概要

- ・ 東北の中で2番目の面積を持ち、人口は約28万人で県内で最も人口が多い市町村である
- ・ 城下町として栄え、水陸交通の要として有名であった
- ・ 第二次世界大戦の被害が少なく、明治維新によって建設された近代の町並みが数多く残っている

2023年1月12日にニューヨーク・タイムズが「52 Places to Go in 2023 (2023年に行くべき52か所)」を発表し、イギリスの首都ロンドンに続く **2番目**に**盛岡市**が紹介された

なぜニューヨーク・タイムズは盛岡市を2番目に選んだのか？

東京駅から数時間で行ける利便性が挙げられるから？

→盛岡市が評価された魅力は他にもある

○盛岡市の魅力

- ・ 近代的な和洋折衷の建築による街並み
- ・ 中心市街地を流れる川や城跡公園などから四季を感じられる自然
- ・ 書店や珈琲、喫茶店文化が根付く町

コンセプト

盛岡市の魅力

- ・ 近代建築の街並み
- ・ 街中にある豊かな自然
- ・ 人気が多くなくのんびりできる

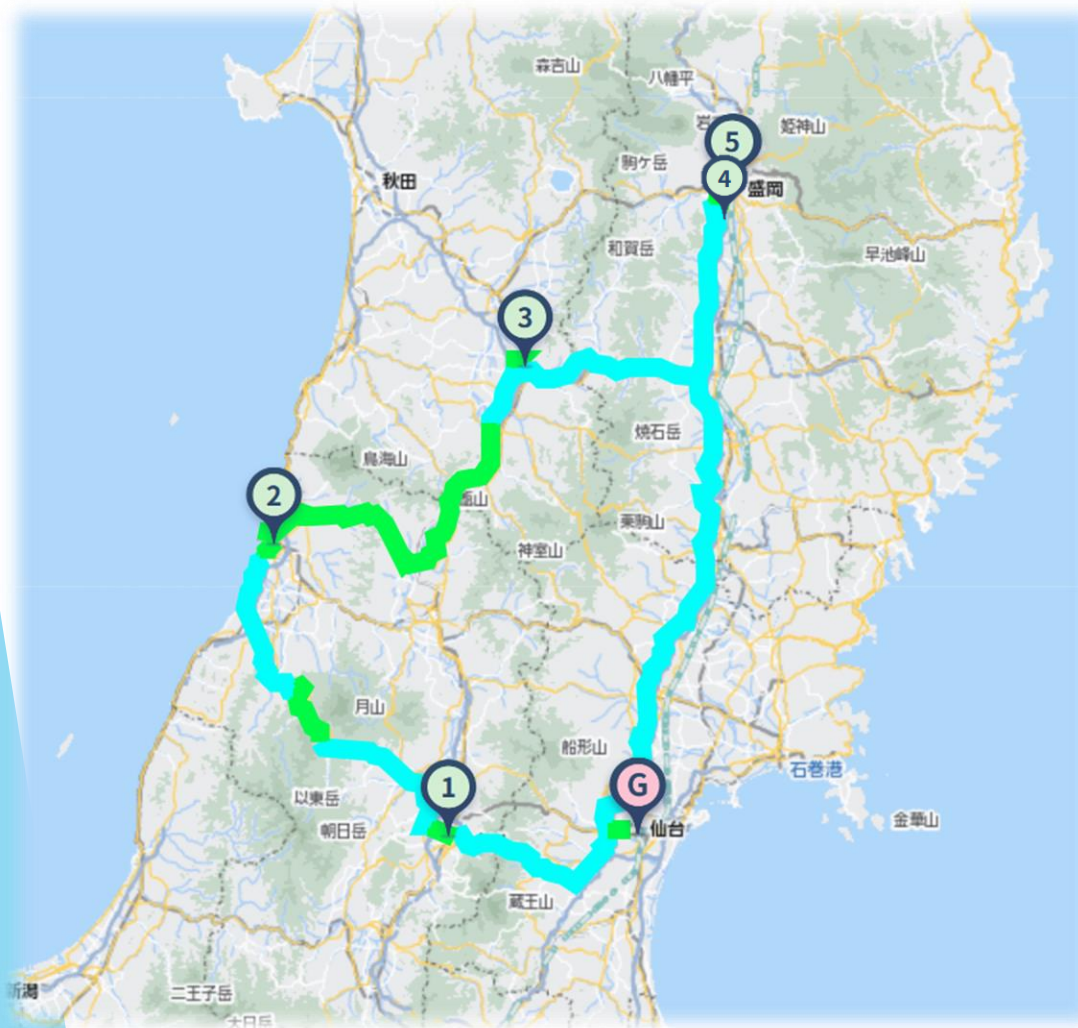
盛岡市と似たような
他の地域の魅力を発見

東北の近代的な街並みと
豊かな自然景観が織りな
す空間を持つ地域を紹介

**地域の魅力を
再発見**

スタンプラリーの概要

ルートマップ 2泊3日



NAVITIMEドライブコース作成
<https://www.navitime.co.jp/drivetool/course/47b2670bce464f508a984a903406ffa1>

青線：高速道路（有料道路） 緑線：一般道

概要:盛岡市の魅力とその他の東北の地域で、盛岡市のようなレトロで落ち着いた街並みや自然と調和した景観を持った地域を紹介するスタンプラリーを企画した。また、ドライブコースがハート型になるようにアレンジを加えて東北愛を表現した。

ドライブルート

仙台駅→①文翔館→②山居倉庫→③横手市増田伝統的建造物群→④岩手銀行赤レンガ館→⑤もりおか啄木・賢治

青春館→仙台駅

スタンプラリークリア特典

スタンプ2個以上で応募 1,000円相当×30名分 (特典：盛岡の銘菓詰め合わせセット)

スタンプ5個で応募 3,000円相当×5名分 (特典：酒田市・山形市・横手市の特産品・銘菓豪華詰め合わせセット)

対象と結果

対象：東北の魅力を知りたい方、東北愛が強い方

結果：歴史を学ぶことができる。一般的には認識されていない東北の魅力を発見できる。

→東北地域の魅力を再発見できる

スポット紹介

①文翔館（山形県山形市）

山形県山形市の概要と魅力

○概要

- ・山形県山形市は人口25万の中核都市である。
- ・山形市は2017年に日本で初めて「ユネスコ創造都市ネットワーク」の映画分野に加盟。
- ・山形市は空襲に見舞われなかったことから、多くの歴史的建造物が残っている。

○魅力

- ・自然が身近にあり、蔵王や山寺などの観光地を有している。
- ・盆地のため、四方を山で囲まれていることで、一年中美しい景色を堪能できる。
- ・近代の建築物や街並みが多く残っている。

主なスポット

- ・文翔館
- ・旧済生館本館
- ・旧山形師範学校本館
- ・霞城公園 ←自然豊かで市民憩いの場。



出典：公益社団法人 山形県生涯学習文化財団山形県郷土館 文翔館 ホームページ
<https://www.gakushubunka.jp/bunshyokan/>から引用

- ・明治以降の山形市の中心的建造物であり、近代以降の山形市と共に歴史を歩んできた。
- ・周りの現代的な街並みと文翔館の近代的な雰囲気とのコントラストが見物
- ・無料でガイドボランティア*をつけることができ、展示だけでは知りえないことも説明してくれる。文翔館と山形市の歴史を学ぶことができる郷土館として使われている。
- ・現在は文化活動のステージを提供しているとともに、成人式の撮影で多くの山形市民が立ち寄るなど山形市民にとって身近な交流の場ともなっている。

*ガイドボランティアについて
事前の予約が必要 電話かFAXによる受け付け
詳細については (<https://www.gakushubunka.jp/bunshyokan/guide/>)

②山居倉庫（山形県酒田市）

山形県酒田市の概要と魅力

○概要

- ・山形県酒田市は人口約9万7千人であり、県内で第3位の人口を誇る。
- ・港湾都市として栄え、昔は物流の拠点の一つとして名を挙げており、海の幸と豊かな土壌が育む日本有数の米どころである。

○魅力

- ・鳥海山や出羽山地、庄内平野、日本海などの豊かな自然
- ・有名な豪商である本間家による街づくりが見られる
- ・山居倉庫周辺の古風な街並み
- ・ドラマや映画撮影などといった際に用いられるほど現代建築が醸し出す雰囲気とは異なり、近代的な建物が多い。

主なスポット

- ・山居倉庫
- ・日本間邸



出典：旅東北 東北の観光・旅行情報サイト

https://www.tohokukanko.jp/attractions/detail_1332.html

- ・米の保管庫で、素材にケヤキを利用して温度管理をしたり、二重屋根で湿気を防いだりと当時の独特な技術が見られる
- ・敷地内のケヤキが季節ごとに変化し、フォトスポットとして有名
- ・現在、倉庫はお土産コーナーや歴史資料館として使われている

③横手市伝統的建造物群（秋田県横手市）

秋田県横手市の概要と魅力

○概要

- ・日本有数の豪雪地帯であり、毎年2月に行われる伝統行事のかまくらや、日本三大焼きそばの一つに数えられる横手焼きそばが有名。
- ・江戸時代以前より人と物資の往来で賑わい、物資の流通に伴って県内有数の商業地となった。
- ・横手市増田町の街並みと内蔵は平成25年に文化的な価値が高いとして、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれた。

○魅力

- ・増田の街並み・内蔵(七日町商店街通り)
- ・かつて商業地の中心であり、「内蔵」と呼ばれる土蔵が集中して立地し、現存している
- ・内蔵は雪害から保護するための造りになっている。
- ・他の土蔵と違って「座敷蔵」が多くそこに生活空間を持っており、外部の人間から閉ざされた不思議な空間を持つ。

関連する周辺スポット

- ・真人公園
- ・横手城



出典：全国伝統的建造物群保存地区協議会

<https://denken.gr.jp/archive/yokote-masuda/index.html>

- ・豊かな自然が囲まれている中で明治・大正ごろの景観や内蔵を見て、レトロな雰囲気味わえる
- ・他の土蔵とは違い、増田町の内蔵には生活空間があり、昔ながらの生活空間を見ることができる
- ・特におすすめの建物は「蔵の駅」であり、昔ながらの内蔵を見物しながら増田町の物産を買うことができる。

④ 岩手銀行赤レンガ館



出典：岩手銀行赤レンガ館 (<https://www.iwagin-akarengakan.jp/>) から引用

東京駅を象徴する赤レンガ駅舎を手がけた辰野・葛西建築設計事務所によるもので、辰野金吾が設計した建築としては東北地方に唯一残る作品で、国の重要文化財にも指定されている明治・大正時代を代表する近代建築の一つである。

建物内にも入館することができ無料ゾーンと有料ゾーンがある。有料ゾーンでは、銀行として使われていた当時の内装が再現されており、外見だけでは感じることもできないレトロさを満喫できるのがポイント！

⑤ もりおか啄木・賢治青春館



出典：盛岡市ホームページ (https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/morioka_profile/1009298.html) から引用

もりおか啄木・賢治青春館は第九十銀行本店本館として建設された建築物であり、岩手銀行赤レンガ館とほぼ同時期に建設された。岩手銀行赤レンガ館とは異なる、空気間を楽しみつつ、盛岡市で青春時代を過ごした石川啄木や宮沢賢治を思い浮かべながら、建物内に入っている「喫茶あこがれ」で一休みしてみてもいい。

まとめ

このスタンプラリーを通して、参加者が盛岡市の魅力を知りつつ、それと共通点がある地域に足を運ぶことで新たな**東北の魅力**を考えるきっかけとなる。